

スタッフ おすすめの逸品

3回目
宮本 加壽子

出釈迦寺・我拝師山捨身ヶ嶽禪定

[しゅしゃかじ・がはいしざんすてみがだけぜんじょ]

おすすめの逸品というのとは少し違うかもしれません、私がぜひおすすめしたい場所があります。四国八十八ヶ所 73番札所の出釈迦寺です。弘法大師ご誕生の聖地善通寺、五岳の里に併み、年間何万人もの人が自分の心を見つめるためにお参りするそうです。私もその中の1人です。出釈迦寺の奥の院に我拝師山捨身ヶ嶽禪定があります。出釈迦寺から歩いて30分ほどで標高約360mの山頂にたどり着きます。途中10分ほど登った所に、『柳の水』という甘くてとてもおいしいわき水があり、私たちの喉の乾きを潤してくれます。



その他にも、禅定までの参道脇には与謝野晶子さんの歌碑や石燈籠があります。春は、桜や新緑の山々を見ながら一歩一歩登っていると、ふと「人は何を思っているのだろう」と思ったりします。山頂からの眺めもとても美しく、遠くには岡山、瀬戸大橋と瀬戸内海の島々が数多く見えます。また夕暮れの瀬戸の夕日も、絵に描いたようにとても美しく、今日も元気に登らせていただいたという感謝の心と達成感で、今の幸福をかみしめることができます。また禅定には、お大師様（弘法大師）が7歳の時、仏門で悟りを開こうと断崖絶壁から身を投げたところ、お釈迦様と紫の雲がわき起り、天女が現れ、お大師様を抱きとめてくれたという伝説があります。また、旧暦の15日（満月の日）は縁日といって、朝7時から無料の車で山頂まで送迎してくれています。夜は6時からありがたいお経も聞くことができます。そして、来年は四国八十八ヶ所参りが開かれて、1200年になるそうです。みな様も一度、出釈迦寺や禅定を訪れてみてはいかがでしょうか？

【写真上…出釈迦寺の本堂と大師堂】【写真左…禅定の全景】



宮本家の長女が 石巻へボランティア に行ってきました！



宮本家の長女（朝美・中学1年生）が3月23日から26日の3泊4日で宮城県の石巻市へ「さぬき・中学生うどん炊き出し隊」ボランティアとして参加してきました。片道19時間のバス移動です。仮設住宅で泊まつたり、石巻の人たちとの交流会もあり貴重な経験が出来たと思います。特に大きな被害を受けた「大川小学校」、被災地が一望できる「日和山公園」などには言葉を失うくらいの衝撃を受けたみたいです。このボランティアを通じて今ある普通の生活が幸せを感じてこれから的生活に生かしてくれれば嬉しいと思います。

宮本 武

ちょっとブレイク！

まめ知識

知っていてあまり役に立たない
けれど、思わず「へえ～」と
言ってしまいそうなまめ知識を
集めてみました！

1. 歴史上（おそらく）最も長い名前だった人物はだれ？

答えは「ピカソ」です。ピカソの本名は、「パブロ・ディエゴ・ホセ・フランシスコ・デ・パウラ・ホアン・ネポムセーノ・マリア・デ・ロス・レメディオス・クリスピーン・クリスピアーノ・デ・ラ・サンティシマ・トリニダッド・ルイス・イ・ピカソ」だそうです。

2. 高知県の有名な料理、「かつおのタタキ」はどうやって出来た？

江戸時代、土佐の人々はカツオを刺身で食べていました。ある時、生の魚を食べて食あたりになる人が続出し、生の魚を食べてはいけないという御触書が出来ました。でも生の魚を食べたかった人々はカツオの表面だけ炙り、焼いたフリをしました。これがタタキのルーツと言われているそうです。